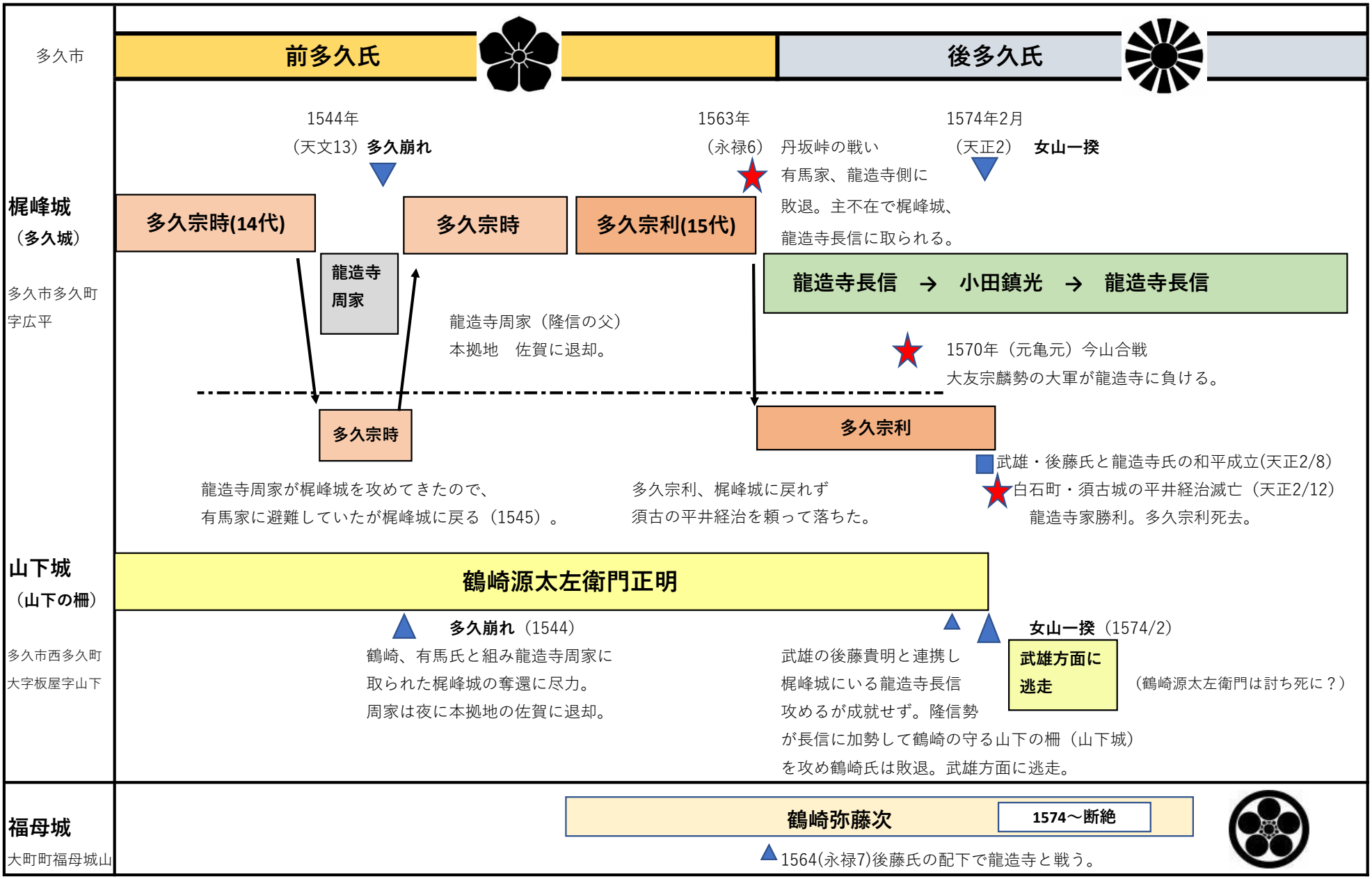
多久市
前多久氏
後多久氏
1544年
（天文13）多久崩れ
1563年
（永禄6）
丹坂峠の戦い
有馬家、龍造寺側に
敗退。主不在で梶峰城、
龍造寺長信に取られる。
1574年2月
（天正2）
女山一揆
梶峰城
（多久城）
多久市多久町
字広平
多久宗時(14代)
多久宗時
多久宗利(15代)
龍造寺
周家
龍造寺長信 → 小田鎮光 → 龍造寺長信
龍造寺周家（隆信の父）
本拠地　佐賀に退却。
1570年（元亀元）今山合戦
大友宗麟勢の大軍が龍造寺に負ける。
多久宗時
多久宗利
武雄・後藤氏と龍造寺氏の和平成立(天正2/8)
白石町・須古城の平井経治滅亡（天正2/12）
龍造寺家勝利。多久宗利死去。
龍造寺周家が梶峰城を攻めてきたので、
有馬家に避難していたが梶峰城に戻る（1545）。
多久宗利、梶峰城に戻れず
須古の平井経治を頼って落ちた。
山下城
（山下の柵）
多久市西多久町
大字板屋字山下
鶴崎源太左衛門正明
多久崩れ（1544）
鶴崎、有馬氏と組み龍造寺周家に
取られた梶峰城の奪還に尽力。
周家は夜に本拠地の佐賀に退却。
女山一揆（1574/2）
武雄方面に
逃走
（鶴崎源太左衛門は討ち死に？）
武雄の後藤貴明と連携し
梶峰城にいる龍造寺長信
攻めるが成就せず。隆信勢
が長信に加勢して鶴崎の守る山下の柵（山下城）
を攻め鶴崎氏は敗退。武雄方面に逃走。
福母城
大町町福母城山
鶴崎弥藤次
1574～断絶
1564(永禄7)後藤氏の配下で龍造寺と戦う。